

様式第3(第6条関係)

特定施設の種別及び能力ごとの数変更届出書

〇〇年 〇〇月〇〇日

会津若松市長 **※届出者は元請業者となります。**

届出者 会津若松市〇町〇丁目〇番〇号  
 〇〇株式会社  
 代表取締役 〇〇 〇〇  
 電話番号 〇〇〇- 〇〇〇〇

振動規制法第8条第1項の規定により、特定施設の種別及び能力ごとの数の変更について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△株式会社 〇〇工場		※ 整理番号					
工場又は事業場の所在地	会津若松市△△町△丁目 △番△号		※ 受理年月日		年 月 日			
			※ 施設番号					
			※ 審査結果					
			※ 備考					
特定施設の種別	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前(時・分)	変更後(時・分)	変更前(時・分)	変更後(時・分)
付表1参照	数が多い場合は、付表1参照としてください。							

- 備考 1 特定施設の種別及び能力ごとの数又は特定施設の使用の方法に変更がある場合であつても、振動規制法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種別については、記載しないこと。
- 2 特定施設の種別の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4 とすること。
- 5 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

付表 1

振動特定施設の種類の数

振動特定施設の種類	型式	公称能力	数		使用開始時刻 (時・分)		使用終了時刻 (時・分)	
			変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
1 金属加工機 ロ 機械プレス	〇〇	〇kW	3	4	8:00	0:00	17:00	24:00
届出対象施設の番号並びに名称を記入	製造会社名及び型式・型番号を記入	同公称能力でも1台増加なら届出必要					変更後は24時間稼働する場合の記入	
参考事項								

備考

- 1 振動特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記入すること。
- 2 振動特定施設の規模、構造等の参考となる仕様書又はカタログの写しを添付すること。

付表 2

振動の防止の方法

振動特定施設の種類	1 金属加工機 ロ 機械プレス
振源での振動レベル (dB)	60 dB (機側より 1m)
建屋の壁材質と厚さ	〇〇材を用いた壁、 厚さ：〇〇
敷地境界までの距離 (m)	10 m
その他の振動 防止対策	防振ゴムの設置
敷地境界線での振動 レベルの予測値 (dB)	50 dB
振動特定工場等の 周辺の状況	周辺の状況について記入 なお、近隣50m以内に学校、保育所、病院、図書館、老人ホーム 等(※詳細は手引き p.5を御覧ください)、がある場合は必ず記入。
(振動の計算)	
計算過程・結果を記入してください。	
※予測値が基準値を超えないよう防音対策をしてください。	

備考

- 1 その他の振動防止対策の欄には、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等の防止に関して講じようとする措置の概要を記入する

- こと。
- 2 振動特定工場等の立面図を添付すること。